

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 株式会社 トランスジェニック

上場取引所 東

コード番号 2342 URL http://www.transgenic.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名)取締役 (氏名) 山村 研一

(氏名)福永 健司

TEL 03-5524-6152

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	243	81.0	△215	_	△223	_	△189	_
21年3月期第2四半期	134	_	△312	_	△307	_	△313	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△1,740.73	_
21年3月期第2四半期	△2,877.25	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	2,200	1,919	86.7	17,484.34
21年3月期	2,234	2,114	93.8	19,211.75

(参考) 自己資本

22年3月期第2四半期 1,906百万円

21年3月期 2,095百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円銭	円 銭			
21年3月期	_	0.00	_	0.00	0.00			
22年3月期	_	0.00						
22年3月期 (予想)			_	0.00	0.00			

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	680	109.3	△373		△370	_	△375	_	△3,438.44

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則·手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 - ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 109,075株 21年3月期 109,075株
 - ② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 14株 21年3月期 14株
 - ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 109,061株 21年3月期第2四半期 109,061株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関しての仮定を前提としており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報·財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高243,550千円(前年同期134,542千円)、営業損失215,182千円(前年同期312,875千円)、経常損失223,954千円(前年同期307,207千円)、四半期純損失189,845千円(前年同期313,795千円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 遺伝子破壊マウス事業

積極的な販売促進活動の展開が反映されたことにより、遺伝子情報売上(TG Resource Bank®)および受託事業が好調に推移し、この結果、売上高は86,806千円(前年同期55,648千円)、営業利益は9,284千円(前年同期は営業損失44,842千円)となりました。

② 抗体事業

将来的な収益拡大に向けて自社開発抗体製品の研究に注力し、受託サービスを抑制しました。この結果、抗体製品販売は前年同期並に推移したものの、売上高は25,363千円(前年同期42,590千円)となりました。新抗体製品の開発にかかる費用を研究開発費として費用計上したことから、営業損失63,576千円(前年同期16,886千円)となりました。

③ 試薬販売事業

サイトカイン販売が好調に推移し、さらに前年契約したプロテインテック社(米国)との販売契約により、研究用試薬のラインナップを拡充し、受注に反映しました。この結果、売上高47,034千円(前年同期27,626千円)、営業利益4,813千円(前年同期は営業損失13,558千円)となりました。

④ 食品事業

新たに連結の範囲に㈱果実堂及び㈱果実堂ファームを加えたことに伴い、当第2四半期連結会計期間より「食品事業」を追加しております。

主力製品であるベビーリーフが、当期間中の水害および日照不足の影響により生産量が減少し、それに伴い販売が伸び悩みました。この結果、売上高は61,123千円、営業損失は31,905千円となりました。

⑤ その他事業

積極的な販売促進活動によりサービスの認知度が向上し、創薬支援サービスの売上が好調に推移しました。この結果、売上高23,221千円(前年同期8,677千円)、営業利益14,186千円(前年同四半期は営業損失3,480千円)となりました。

研究開発におきましては、平成21年7月、国立国際医療センターと「新型インフルエンザ簡易迅速確定診断方法の確立をめざした共同研究開発契約」を締結しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末(平成21年9月30日)は、流動資産1,338,866千円(前連結会計年度末比174,374千円減少)、固定資産861,535千円(同140,077千円増加)、流動負債153,274千円(同38,852千円増加)、固定負債127,762千円(同122,410千円増加)、純資産合計1,919,365千円(同195,560千円減少)となり、総資産は2,200,402千円(同34,297千円減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失234,416千円(前年同期312,130千円)、減損損失20,880千円などにより、営業活動の結果使用した資金は214,895千円(前年同期373,751千円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

関係会社株式の取得による支出153,000千円などにより、投資活動の結果使用した資金は135,944千円(前年同期は597,754千円の獲得)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出14,314千円により、財務活動の結果使用した資金は14,314千円となりました。 以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ365,153千円減少し、1,154,332千円(前年同期1,720,505千円)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結会計期間において株式会社果実堂及び同社グループ会社を連結または持分法の適用の範囲に含めております。これに伴い、平成21年5月15日の決算発表時に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日から平成22年3月31日)の連結業績予想を平成21年6月26日付で修正・公表しておりました。その後、食品事業において、天候不良に伴う主力製品の生産量減少により売上高予想数値が計画を下回る結果となり、平成21年10月2日付で連結業績予想を修正・公表しております。第3四半期会計期間においては、業績は概ね予定通りに推移しており、現時点においては業績予想の変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ① 簡便な会計処理 該当事項はありません。
 - ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理 該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、重要な営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これは、一定の管理部門経費が発生する一方で、研究開発成果である製品販売及びロイヤリティ収入等の収益化が遅延していること等によるものであります。当社は、当該重要事象を解消するため、役員報酬を始めとする管理部門人件費の大幅な削減、収益構造の再検討、研究開発課題の絞込みを行っており、速やかに業績の改善を実現させる所存であります。

また、食品事業を展開する株式会社果実堂のグループ会社化を契機に、当社のDNA・遺伝子解析技術を用いた新たな事業領域への参入を検討しております。

資金につきましては、当第2四半期連結会計期間末時点で、現金及び預金と有価証券の合計額は1,174百万円であることから、財務的支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は行っておりません。

5. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	274, 338	178, 361	
受取手形及び売掛金	101, 408	75, 569	
有価証券	899, 993	1, 199, 938	
商品及び製品	12, 879	3, 055	
仕掛品	14, 191	5, 752	
原材料及び貯蔵品	11, 941	6, 476	
その他	24, 494	44, 260	
貸倒引当金	△382	△175	
流動資産合計	1, 338, 866	1, 513, 240	
固定資産			
有形固定資產			
建物及び構築物	489, 414	459, 317	
減価償却累計額	△141, 875	△120, 834	
建物及び構築物(純額)	347, 538	338, 483	
その他	377, 755	324, 436	
減価償却累計額	△357, 144	△324, 436	
その他 (純額)	20, 610	-	
有形固定資産合計	368, 148	338, 483	
無形固定資産		<u> </u>	
のれん	409, 165	187, 563	
無形固定資産合計	409, 165	187, 563	
投資その他の資産		211,111	
その他	91, 172	195, 412	
貸倒引当金	△6, 950	_	
投資その他の資産合計	84, 221	195, 412	
固定資産合計	861, 535	721, 458	
資産合計	2, 200, 402	2, 234, 699	
具注目目	2, 200, 402	2, 234, 099	

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)	
負債の部			
流動負債			
買掛金	17, 314	7, 648	
短期借入金	10, 000	_	
1年内返済予定の長期借入金	36, 256	_	
未払金	41, 449	42, 924	
未払法人税等	8, 946	10, 372	
賞与引当金	10, 769	_	
受注損失引当金	374	498	
その他	28, 162	52, 978	
流動負債合計	153, 274	114, 421	
固定負債			
長期借入金	112, 746	_	
長期リース資産減損勘定	_	5, 351	
その他	15, 016	_	
固定負債合計	127, 762	5, 351	
負債合計	281, 036	119, 773	
純資産の部			
株主資本			
資本金	4, 855, 225	4, 855, 225	
利益剰余金	$\triangle 2,948,035$	$\triangle 2,758,189$	
自己株式	△1, 782	△1, 782	
株主資本合計	1, 905, 407	2, 095, 253	
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	1, 451	_	
評価・換算差額等合計	1, 451	_	
新株予約権	8, 634	17, 387	
少数株主持分	3, 871	2, 285	
純資産合計	1, 919, 365	2, 114, 926	
負債純資産合計	2, 200, 402	2, 234, 699	

(2) 四半期連結損益計算書 (第2四半期連結累計期間)

売上高 売上原価 売上総利益 販売費及び一般管理費 営業損失(△) 営業外収益 受取利息 保険解約返戻金	$ \begin{array}{r} 134,542 \\ 76,749 \\ 57,792 \\ 370,668 \\ \triangle 312,875 \\ \end{array} $ $ \begin{array}{r} 7,076 \\ - \end{array} $	$ \begin{array}{r} 243,550 \\ 139,330 \\ 104,219 \\ 319,401 \\ \triangle 215,182 \\ 2,867 \end{array} $
売上総利益 販売費及び一般管理費 営業損失 (△) 営業外収益 受取利息	57, 792 370, 668 △312, 875 7, 076	$ \begin{array}{r} 104,219 \\ 319,401 \\ \triangle 215,182 \end{array} $
販売費及び一般管理費 営業損失 (△) 営業外収益 受取利息	370, 668 △312, 875 7, 076 —	$ \begin{array}{r} 104,219 \\ 319,401 \\ \triangle 215,182 \end{array} $
営業損失(△) 営業外収益 受取利息	△312, 875 7, 076 —	△215, 182
営業外収益 受取利息	7, 076	·
受取利息	-	2 967
	-	2 967
保険解約返戻金	-	2,007
		5, 197
その他	307	3, 134
営業外収益合計	7, 383	11, 198
営業外費用		
支払利息	_	991
投資事業組合運用損	880	2, 230
持分法による投資損失	787	16, 311
その他	48	437
営業外費用合計	1,716	19, 970
経常損失(△)	△307, 207	△223, 954
特別利益		
新株予約権戻入益	_	11, 164
特別利益合計	_	11, 164
特別損失		
固定資産売却損	2, 658	746
投資有価証券評価損	2, 264	_
減損損失	_	20, 880
特別損失合計	4, 923	21, 627
税金等調整前四半期純損失 (△)	△312, 130	△234 , 416
法人税、住民税及び事業税	1,678	2, 427
法人税等合計	1,678	2, 427
少数株主損失(△)	△13	△46, 998
四半期純損失(△)	△313, 795	△189, 845

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△312, 130	△234 , 416
減価償却費	11,714	13, 232
減損損失	_	20, 880
のれん償却額	5, 489	8, 364
株式報酬費用	3, 566	2, 412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	1, 903
受取利息及び受取配当金	△7, 076	△2, 867
支払利息	_	991
為替差損益(△は益)	89	0
持分法による投資損益(△は益)	787	16, 311
保険解約損益(△は益)	_	△5, 197
固定資産売却損益(△は益)	2, 658	746
投資有価証券評価損益 (△は益)	2, 264	_
新株予約権戻入益	_	△11, 164
売上債権の増減額(△は増加)	5, 552	757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6, 547	△17, 093
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,073	2, 392
未払金の増減額 (△は減少)	△78, 756	△26, 209
その他の資産の増減額 (△は増加)	△15, 073	20, 768
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2, 070	△4, 618
小計	△375, 355	△212, 805
利息及び配当金の受取額	6, 409	3, 932
利息の支払額	_	△673
法人税等の支払額	△4, 805	△5, 349
営業活動によるキャッシュ・フロー	△373, 751	△214, 895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600, 000	_
有価証券の取得による支出	_	△700, 000
有価証券の償還による収入	_	700, 000
関係会社株式の取得による支出	_	△153, 000
有形固定資産の取得による支出	△700	△1, 440
有形固定資産の売却による収入	_	950
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,255$	_
貸付けによる支出	_	△180
貸付金の回収による収入	634	621
保険積立金の解約による収入	<u>–</u>	14, 022
敷金の回収による収入	-	3, 033
その他	△924	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	597, 754	△135, 944

		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出		△14, 314
財務活動によるキャッシュ・フロー	_	△14, 314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	$\triangle 0$
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	223, 913	△365, 153
現金及び現金同等物の期首残高	1, 496, 591	1, 378, 300
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	_	141, 185
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 720, 505	1, 154, 332

(4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売 上高	55, 648	42, 590	27, 626	8, 677	134, 542	_	134, 542
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_	_
計	55, 648	42, 590	27, 626	8, 677	134, 542	_	134, 542
営業損失(△)	△44, 842	△16, 886	△13, 558	△3, 480	△78, 768	△234, 107	△312, 875

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	食品事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高 (1) 外部顧客に対する売上高 (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	86, 806 —	25, 363 —	47, 034	61, 123	23, 221 —	243, 550 —	_	243, 550
計	86, 806	25, 363	47, 034	61, 123	23, 221	243, 550	_	243, 550
営業利益又は 営業損失(△)	9, 284	△63, 576	4, 813	△31, 905	14, 186	△67, 197	△147, 984	△215, 182

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2. 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
試薬販売事業	試薬の仕入、販売
食品事業	ベビーリーフ・ドレッシング等の製造及び販売
その他事業	生殖工学技術研修等

3. 追加情報

第1四半期連結会計期間末日より㈱果実堂及び同社子会社である㈱果実堂ファームを連結の範囲に含めたため、新たな事業区分として「食品事業」を設定しております。なお、みなし取得日を第1四半期連結会計期間末日である平成21年6月30日としているため、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

4. セグメント別資産の著しい金額の変動

新たに事業区分として設定した「食品事業」セグメントの当第2四半期連結会計期間末の資産は315,371 千円であります。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。